

Y's Men International

YMI

WORLD



“To acknowledge the duty that accompanies every right”

Only for private distribution to members

YMI ワールド 2021-2022 No.4 日本語版



内容：国際会長の振り返り「全体として満足のいく1年」・ドバイサミット・祝いと感謝・活動ニュース：「朗報！ジュネーブに私たちの自前の拠点が誕生しました。」・ちょっとした思いつき：「どんなに小さな親切も無駄にはならない」・ワイズメンのアイデンティティ：個々のクラブの重要性・連帯：ウクライナとともに・マイクロストーリー：「国際本部の設置」・地域からのニュース：エストニア、台湾、インド、アメリカ、カナダ、マレーシア、フィリピン、オーストラリア、デンマーク・魂の真言：「被害者の持つパワー」・国際会長 2010 - 2022 年

読者の皆さまへ



世界的なパンデミックによるパニックは、収束したわけですが、本当にそうでしょうか。新型コロナウイルスの狂乱からの生還で安堵のため息をついているようですが、世界には、まだ致命的なウイルスの脅威にさらされている地域があります。推定では2年間のパンデミックの間に5億3,400万人

が影響を受け、6月第1週の時点で23万7,000人以上が発症しています。アジア、太平洋地域のいくつかの国では、新たな症例が発生しています。全体として、600万人以上の人命が新型コロナウイルスのパンデミックによって失われました。

渡航制限が緩和されたとはいえ、国際RDEサミットのためのドバイへの渡航がそうであったように、海外渡航は、国によって手続きが異なるため、なかなか面倒なようです。今後、このような事態が收拾され、2019年のような自由で陽気な雰囲気が戻ってくることを願うばかりです。

今、世界を見つめているのは、もう1つの危機、すなわちロシアとウクライナの敵対関係によって、38カ国で合計4,400万人が飢餓の淵に立たされていることです。世界教会協議会が2022年5月31日に発表した声明は、ウクライナにおける停戦の必要性和、世界中で拡大する食糧不安に対処する必要性を強く訴えています。「深刻な食糧不安に直面している人々の数は、2019年以降、1億3,500万人から2億7,600万人へと2倍以上に増加しています。」と声明は、指摘しています。数千人が死亡し、ウクライナの全人口の4分の1を優に超える1,400万人以上が故郷からの避難を強いられたと推定されています。

このような危機的状況において、YMIのメンバーは、被災者に救いの手を差し伸べるために積極的に行動してきました。本号では、ヨーロッパ、特にモルドバ共和国のYMCAとYMI

エストニア、パルヌワイズメンズクラブが展示したテーマ別の展示品は、ワイズメンズクラブ国際協会の創立100周年を記念して行われました。10ページの記事をご覧ください。

YMIワールド

ワイズメンズクラブ国際協会

国際本部:Ave Sainte-Clotilde 9, CH-1205 スイス

国際編集長:コシー・マシュー

日本語版翻訳グループ:田尻忠邦(委員長・大阪)、田中博之(東京多摩みなみ)、青木一芳(千葉)、朝倉正昭(東京世田谷)、今城高之(横浜つづき)、生川美樹(川越)、利根川恵子(川越)、花輪宗命(東京八王子)、比奈地康晴(東京)、倉田正昭(京都)、谷川寛(大阪センテナリアル)、谷本秀康(広島)、中井信一(奈良)、前田香代子(熊本ジェーンズ)

印刷:(株)三浦印刷所 三浦克文(岡山)

が、ウクライナから逃れてきた人々にシェルターと必需品を提供する最前線に立った話を読むことができます。

キム・サンチェ国際会長は、昨年就任した際、パンデミックによる苦しみに応えることを宣言し、「ワイズメンは世界と共に」をテーマに掲げました。彼は、これを、国際舞台でYMIの認知度を高めるチャンスと捉えました。世界中のYMIのクラブは、積極的に反応し、人間の苦しみを和らげるために団結して行動したと言わざるを得ません。今号ではキム国際会長が、この偉業とその他の1年間の成果を満足して振り返っています。

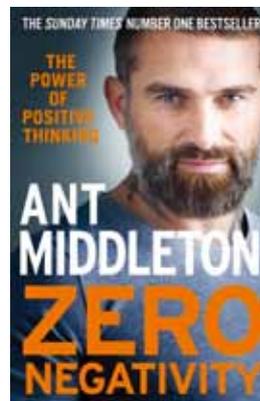
また、この号では、オーストラリアのピーター・サールによる、見返りを期待せずに親切にすることのありがたさについての短い考察も掲載されています。彼は、たくさんの小さな親切がある中で、インスリンを必要とする人が、キーウの薬局で長い列の先頭に並ぶことを許された例を挙げています。そのような簡単な行為は、時間やエネルギーを費やす必要はありません。それは、心の持ちようであり、私たちは、それをとても嬉しく思っています。

今号もぜひお読みください。

ワイズリー

コシー・マシュー

私の本棚から



ゼロ ネガティビティ:「前向き思考の力」 アント・ミドルトン著(2020)

経済的な困難、人間関係の問題、仕事の問題、そのすべてにおいて、人生が追い詰められているように感じるときがあります。私たちの誰もが、一度や二度は、訪れる困難に立ち向かわなければならないでしょう。ネガティブに考えれば、他人が悪い、自分が不当な扱いを受けている、などということになります。

もうひとつは、ポジティブに、その状況を受け入れ、そこから学び、成長し、最後には、より良い人間になることです。本書では、これまで語られることのなかった、失敗を受け入れてそれを活かす方法、変化を将来の成功の礎とする方法、レジリエンスを高める方法、いじめに対処する方法、ポジティブ・ロールモデルとなる意味、後悔のない人生を送る方法などを紹介しています。この本は、あなたが誰になるべきか、どこに住むべきか、どんな仕事をすべきかを教えてくれるものではありません。それは、あなた次第です。しかし、本書は、可能な限り最高の自分になるために必要なツールを与え、自分が誰で、何であるかを所有し、ゼロ・ネガティブで人生を送るためのものです。

(グッドリーダーズのレビュー)

全体として満足のいく1年

韓国からご挨拶申し上げます。私のメンターであるジェイコブ直前国際会長は、自分がパンデミック国際会長だと冗談を言っていました。私も次期国際会長、国際会長として、世界的なパンデミックの陰で過ごさなければなりません。韓国地域会長、ポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産プロジェクト副委員長、そして2021/22年度国際会長として、比較的短期間で就任した私の任期は、すべての瞬間が常に学びのプロセスでした。元国際会長のジェニファー、直前国際会長のジェイコブ、国際会計のフィリップス、国際書記長のジョースが多くのアドバイスとサポートをしてくれました。また、ムン元国際会長をはじめとする韓国地域の指導者の方々も、常に強力なサポーターとなってくれました。ワイズメンズクラブ国際協会の100年の歴史は、巨大なYMCAに比べると一般にはほとんど知られておらず、また、私たちのアイデンティティに対する疑問は常につきまといますので、国際執行役員時代に成長と知名度を得ることは、私にとって最優先事項でした。世界が突然のパンデミックに見舞われる中、私は、国際会長の年に「世界とともにワイズメン」をテーマに掲げました。国際的な舞台で組織の知名度を上げ、真の奉仕団体としての自覚を呼び覚ますチャンスと考え、「愛と尊厳で世界を癒そう」をスローガンに掲げました。国や区を超えたグローバルなボランティア活動を通じて、ワイズメンズクラブがひとつになることを夢見ていたのです。認知度を高め、組織能力を強化するグローバルな統合プロジェクトは、長引くパンデミックのために実現できていませんが、忠実なクラブは、地域社会に奉仕し、YMIの国際プログラムに寄付を続けています。特に「世界を癒そう」は、パンデミックの中心であったインドやラテンアメリカのさまざまなコミュニティで活躍し、インドではYMCAとの組織的連携が目覚しく進みました。

パンデミックが続いているにもかかわらず、ほとんどの区では新クラブの結成や会員の維持・拡大により団結力を示しています。6月中旬の時点で、今年度は100の新しいクラブが結成されています。私たちは、一人ひとりのオーナーシップと連帯感が組織の強さであることを再確認しています。危機的状況にあるYMCAを支援し、パンデミックに苦しむ貧しい隣人を助け、ウクライナの危機を緩和するために、各区が静かに募金活動をするのを見ながら、私たちが善良な人々の、誇りあるボランティア組織であることを再認識しています。また、国際的なリーダーたちが、

ワイズメンズクラブ国際協会を現代のニーズに合ったサービス組織に変革するための情熱を発揮する機会もあり、有意義な1年だったと思います。国際議会がICMワーキンググループを立ち上げ、組織を刷新するための活動を始めてから9ヶ月以上が経ちました。3つのグループに分かれ、国際プログラム、国際憲法の見直しなど、将来のための計画を立てています。5月中旬、ドバイで特別国際議会と第2回国際次期理事サミットが開催され、成功裏に終了しました。2年ぶりのリアルでの会議でした。80人を超える出席者全員が親睦を深め、互いの責任を振り返る機会となりました。「戦略2032」の紹介によって、10年間のロードマップが発表され、私たちは、次の世紀への準備と土台作りを再び励んでいます。クラブ会員とリーダーの協力により、ポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産プロジェクトによって国際本部の新しいオフィススペースを購入し、組織の安定運営を確保することができました。今年11月に台湾で開催される100周年記念式典に向けて、ワイズメンズクラブ国際協会の歴史、歴史的な数字そして忠実なゴールデンメンバーに焦点を当てるための準備が本格的に始まっています。申し込みは、<http://ymi-100.org/> にアクセスしてください。特に、地域会長、区理事、国際事業主任、委員会、タスクフォースのメンバーそして舞台裏で時間と労力を惜しまず働いてくれた国際本部のスタッフに感謝したいと思います。7月5日にデンマークのオーフスで国際会長に就任するK・C・サミュエルのリーダーシップのもと、私たちの運動が急成長を遂げ、飛躍することを期待しています。「世界を癒そう」という大きな枠組みのもと、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」を代表する「健康」、「環境」、「教育」に焦点を当てることで、2022/23年がワイズメンズクラブ国際協会の歴史において成功した年として記録されることを期待しています。2021/22年の1年間、ご尽力いただいた皆さまに感謝申し上げますとともに、2022/23年の力強いスタートのために、私たちは、再びベストを尽くすことをお約束いたします。ありがとうございました。



キム・サンチェ
2021/22年国際会長

ドバイサミット



ドバイサミットの参加者たち

元ワイズメンズワールド編集長のウォーリーが以下のとおり書いています。

「IHQ から、5月8日から15日にかけて開催される特別国際議会および国際次期理事サミットに出席し、ハリー・M・バラントイン賞を授与されるようにとの要請がありました。元国際会長のジェイコブからメダルと表彰状を渡され、大変感激いたしました。

国際議会では多くの重要なテーマが取り上げられ、私にとっても大変興味深いものでした。特に重要だったのは、国際憲法の改定を議論した2つのセッションでした。当初は2022年7月までに改定を完了させる予定でしたが、課題の大きさと複雑さにより、期限は、2023年7月に変更されました。

国際次期理事サミットには36名の地域会長と次期理事が参加し、研修およびそれぞれの役職の任務についての話し合いが行われました。ジョース・ヴァルギース国際書記長からは、今後10年間のワイズダムの戦略的方向性について力強いプレゼンテーションがありました。しかし、仕事ばかりではありません。ある晩は、砂漠で食事をし、四輪駆動車で砂丘を走りました。ラクダにも乗りました。

土曜日にイベントが終わった後、ドバイの旧市街を少し歩くことができました。私にとっては、とても思い出に残る旅となりました。」

(ヤングスター誌2022年5月号から転載)

祝いと感謝



元ワイズメンズワールド編集長のアラン・ウォリントン（ウォーリー）がジェイコブ・クリステンセン直前国際会長からハリー・M・バラントイン賞の賞状を授与されました。



元国際会長のジェニファー・ジョーンズがパンデミックの最初の波においての不屈のリーダーシップに対して、次期国際会長のK・C・サミュエルから感謝の盾を授与されました。



直前国際会計のフィリップス・K・チェリアンが6年間に亘る会計の務めに対して、キム・サンチェ国際会長から感謝の盾を授与されました。

朗報! ジュネーブに私たちの自前の拠点が生れました。 国際書記長からの嬉しい報告

親愛なる皆さま

ジュネーブにおいて、新しい国際本部事務所の購入が完了したことをここにご報告いたします。

5月18日(水)、国際本部のスタッフ立会いのもと、国際会長キム・サンチェ、国際会計 T・M・ジョース、私の3名で最終的な売買契約書への署名を行いました。

私たちの新しい事務所が、まもなく、レマン湖の右岸にある1202 ジュネーブ市ローザヌ通り121番地に誕生します。主要鉄道駅、国連、その他の主要国際機関、そして、レマン湖(ジュネーブ湖)畔からわずか数分のところにあります。

なお、郵便物の送付先については、追ってご連絡差上げますが、当面、引き続き従来の住所をご利用ください。

移転する前に、多少の改装が必要ですが、プロジェクトの進行状況に応じて、改めて皆さまにお知らせしたいと思います。

改装工事には2~3ヶ月を予定しています。新しい国際本部事務所は1階にあり、広さは134平方メー

トル、ジュネーブの目抜き通りであるローザヌ通りに面した1等地であるため、知名度を高めることができます。

この歴史的な合意によって、ポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産計画の主要な構想が完了したことになります。

1. オハイオ州トレドの歴史あるウッドローン墓地に、ポール・ウィリアム・アレキサンダーの墓石を購入し設置しました。
2. トレド市は、トレド市立公園に創立者ポール・ウィリアム・アレキサンダーの名前を命名しました。
3. ジュネーブに国際本部事務所を購入しました。
4. 記録文書のデジタル化を推進しました。

引き続き、クラブやその会員の皆さまに、エンダウメント基金および100万ドル募金の目標まであと一歩のポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産基金へのご寄付のご協力をお願いいたします。こちらのリンクを共有してください: [https:// www.ysmen.org/centenary/pwa-legacy](https://www.ysmen.org/centenary/pwa-legacy)

敬具
ジョース



新しい国際本部事務所の売買契約書にサインするキム国際会長(上)、ジョース国際書記長(右)、それを見届けるT・M・ジョース国際会計



ローザヌ通り121番地の新しいワイズメンズクラブ国際協会本部事務所の場所の前にて、スタッフ、国際執行役員および家族たち

ちょっとした思いつき

どんなに小さな親切も無駄にはならない

ピーター・サール



親切な行為とは、見返りを求めず、約束もせず、最高の自分を誰かに与えることです。それは、相手が求めることなく、また自分も見返りを求めずに、単に誰かのために何か良いことをすることです。

人は、知人や他人よりも親しい関係にある人に、より多くのものを与える傾向があります。しかし、最近の出来事では、ヨーロッパ諸国の市民がウクライナ戦争からの難民に家を提供したように、必ずしもそうとは限りません。

親切な行為の素晴らしいところは、受け取る側だけでなく、与える側にもメリットがあることです。最近、BBC ラジオ 4 とサセックス大学の共同研究で、「親切度テスト」が開発されました。人々が親切についてどう考えているかを調べるために 30 分のアンケートを開発し、140 カ国、18 歳から 99 歳の 6 万人以上の回答者に答えてもらいました。この調査は、自ら進んで参加した人を対象に行われたため、結果に偏りがある可能性があります。結果は、興味深く、有益なものでした。

親切な行為で最も多かったのは何かという質問に対しては、人に助けを求められたとき、という答えが大半を占めました。つまり、それは、自発的な行為ではなく、頼まれたときにするもので、友人同士の間で行われる可能性が高いということです。また、ここ数年、親切な行為は減少しているか、あまり変わっていないと感じている人が大半を占めています。また、パンデミックによって私たちは、より親切になり、親切な行為が人々の孤独を軽減していると感じているようです。一般的な傾向には大きなばらつきがありますが、感じの良い人ほど親切にする傾向があり、男性よりも女性の方が親切と見られています。また、優しさや年齢を関連付けるデータはないようです。優しさは、家庭、職場、店舗、教育現場、医療現場などで最も評価されています。また、驚くことではありませんが、政治、オンライン、メディアなどでは、優しさは、あまり評価されていないようです。

親切の最大の障壁は、誤解されるリスクであると回答者は、考えています。言い換えれば、親切にすることは傷つきやすいというリスクがあり、そのため親切にするためには、強さが必要なのです。しかしながら、その結果は、概して肯定的で、親切を与えること、受けること、観察することは、すべて幸福感や生活満足度を向上させると見られています。

現在のロシアのウクライナ侵攻のような恐ろしい時代は、

提供 ベンディゴ Y サービスクラブのプリテン。この記事は、ベンディゴクラブのメンバーであるピーター・サールが 2022 年 4 月にリード記事 / 論説として掲載したもので、ご好意によりここに掲載させていただきました。

人々の最良の（そして最悪の）状態を引き出します。ここ数日のシンプルで寛大な親切の数々を紹介します：

- ・キーウの薬局では、インスリンを必要とする人が長い列の先頭に行くように言われました。

- ・ヨーロッパで最も小さく貧しい国の一つであるモルドバでは、ポーランドとの国境で難民のために子どものおもちゃを提供している人がいます。

- ・ルーマニアとの国境では、国際女性デーにウクライナの女性たちに花が贈られています。

- ・ベルリンの主要駅に到着した何百もの難民のために宿泊施設の申し出があります。

- ・人々は、難民に家を開放しています。

戦争の影響は、何年も続くと思われます。現在の状況が早く解決され、すべての人々が普通の、願わくは、より優しい生き方を取り戻せるようになることを祈りましょう。



私たちの未来を守る

あなたのワイズメン精神を発揮しよう。あなたの善意は、永久に記録されます。今すぐ寄付をしよう！

120 スイスフランの寄付のご提案

1. EF フレンド 50 スイスフラン：EF フレンドになる、またはクラブ会員を推薦してください。国際書記長のサイン入り証明書を発行します。

2. トリビュート 120 スイスフラン：ワイズメンズクラブ国際協会または社会に対して顕著な貢献をされた生前の方、または死去された方に対して、その証となる書面を提出する。国際本部にあるゴールデンブックに保存されます。

3. PWA フェロー 120 または 240 スイスフラン：ポール・ウィリアム・アレキサンダー・フェローまたはダブル・ポール・ウィリアム・アレキサンダー・フェローになる。ピンバッジと国際会長と EF 国際事業主任のサイン入り認定証

4. オナーロール 1,000 スイスフラン：遺贈または生前贈与。ガラス像と特製ピンバッジで表彰されます。



SAFEGUARD
OUR FUTURE.

SHOW YOUR
Y'S MEN SPIRIT.

Your generosity is recorded in a
permanent record.

DONATE
NOW!

Suggested CHF 120



1	<p>EF FRIEND - CHF 50</p> <p>Become an Endowment Fund Friend or nominate a club member for the privilege. Recognized by certificate signed by the International Secretary General.</p>
2	<p>TRIBUTE - CHF 120</p> <p>Provide a written testimony for a person living or dead who has made noteworthy contributions to YMI or society. Preserved in the Golden Book at HQ.</p>
3	<p>PWA FELLOW - CHF 120/240</p> <p>Become a Paul William Alexander Fellow or Double Paul William Alexander Fellow. Pin and certificate of recognition signed by the IP and the ISD EF Promotion.</p>
4	<p>HONOUR ROLL - CHF 1 000</p> <p>A bequest or living donation. Recognized by a glass statue and a special lapel pin.</p>

個々のクラブの重要性

元国際会長ベンソン・ワブレ、ケニア



本誌前号で私たちは、ワイズメンの運動にとってのクラブ会員個人の人々の重要性について調べました。本号では、私たちの運動における個々のクラブの重要性について注目したいと思います。

ワイズメンの活動も、私たちのなす奉仕も、クラブのレベルで起こります。さあやろうと明言することはすべてクラブレベルでなされます。

個々のクラブ会員とそのクラブとは、奉仕の実行においては分かちがたい一卵性双生児なのです。クラブ会員たちが実行した事業は、クラブの事業となり、各会員の納めた会費がまとめられてクラブが納める会費になるのです。個々の会員に次いで、クラブこそはワイズメン運動における最重要な単位であると言えます。そこで、ここではワイズメンズクラブ国際協会におけるクラブの重要性に光を当ててみましょう。

ワイズメンズクラブ国際協会の構成員は、各個のクラブです。私たちは、クラブを通じてこの運動のメンバーになります。国際憲法の第1条第1項にこうあります。「この組織は、ワイズメンズクラブ国際協会と称し、そのモットーは『強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う』である。」本国際協会は、法人組織を有し、運動体としてスイス民法上の法人格を取得しています。

このことは、この短い記事では列挙できないほどの法律上の理由で重要です。クラブこそは、私たちがなす何事においても、テコの支点となります。クラブは、ワイズダムの身分証明書です。クラブ会員として自己紹介するとき、所属クラブ名なしでは完全なものではありません。クラブは、物事を中心であり、任務を立案、計画、実行する際の場となります。国際憲法の「綱領と目的」における最重要の要素です。各個クラブから始まって、部が形成され、その上に区、地域そして国際という行政レベルが形作られるのです。一つの新クラブが生まれると私たちの運動は、成長し、逆に一つのクラブが解散すると運動のその部分が衰退するのです。もし加盟クラブの過半数が消滅したとすれば、ワイズメンズクラブ国際協会は、恐らく存在しなくなるでしょう。

国際協会の最高議決機関である国際議会の議員選挙に候補者を推薦するのはクラブであり、その選挙で当選者(議員)を決めるのもクラブの投票です。次期国際会長・次期国際会計(の候補者)は、国際投票権を持つクラブの会員でなければならず、さらにクラブの投票によってその高い地位に

(脚注)本記事は、筆者が国際会長だった2005-06年に、本誌に掲載したものです。今もなおすべてのワイズ指導者への奨励として適切であると考え、当時のアラン・ウォリントン編集長の承諾を得て再掲しました。



クラブ会員である私たちは：クラブの成り立ちを理解します。YMCAへの奉仕を目的として出発しましたから、YMIは、そのキリスト教の伝統を保持し、誇りとします。しかし、会員の地位はすべての人に開かれており、他宗教・無宗教の人も迎え入れられています。クラブの名称が種々あることを理解します。ワイズメンズクラブ国際協会は、加盟したクラブの連合体です。各クラブは、加盟に際し、次のいずれかの名称で登録します。

- ・ワイズメンズクラブ
- ・ワイズウィメンズクラブ
- ・ワイズメン & ウィメンズクラブ
- ・Yサービスクラブ

クラブを一般に呼ぶときはYMIクラブということもできます。

選出されます。こうして、クラブが国際会長・国際会計となるべき人を決めるのです。クラブこそが私たちのトップリーダーを生み出す、と言うことができるでしょう。国際ワイズ運動の種々の地位に奉仕する指導者を送り出すとき、そのホームクラブが誇りに感じるのは当然です。クラブは、ワイズメン運動の目的を目指して、仲間づくり、もてなし、互恵、支援、考察や情報の交換、団結、事業の執行、指導者養成、自己啓発、そして一致協力、などの機会を提供します。クラブ会員にとって肝心なのは、私たちの運動の成功が、個人個人のクラブレベルでの貢献に大きく依存しているということです。皆さんは、自己紹介するとき、自クラブについて言及することが、所属の部、区、地域について言及するよりずっと強い注目を集めるという事実気づいたことがあるのではありませんか？

私は、国際会長として旅行する中で、クラブというものがワイズの運動にとってどんなに大切かを実感してきました。私たちは、しばしば部、区、地域、国際について語りますが、実はワイズメン運動において最も重要なのは、クラブ会員を別とすれば、クラブなのです。

私は呼びかけます。ワイズメンの皆さん、クラブ拡張のために一層努力しましょう。クラブを支え、強めましょう。なぜなら、それが、ワイズメンズクラブ国際協会を支援し、強化することになるからです。

ウクライナとともに



発送前の多くの救援物資



モルドバのボランティア

モルドバワイズメンズクラブ（デンマーク区）の報告

最新の国連の報告によれば、モルドバ共和国は、ウクライナからの最多数の避難民を受け入れている国です。

現在避難民の流入数は、減少しています。しかし、360万人以上の避難民がモルドバを通過し、その内、約10万2千人がまだ在住し、その内約4万9千人は、子どもです。その中には小さなおもちゃを抱える多くの母親たちがいます。26万人以上の避難民が国内の森林草原地帯(green corridors)を通過するか、まとまった集団として、モルドバを通過しています。

9割近くの避難民は、家族や自分たちの家で居住し、1割は難民配置センターにいます。

モルドバとウクライナは、文化的に似通っており、良き隣人であり、私たちモルドバ社会は、難民の流れを急速に

吸収しており、ウクライナ難民に支援を広げています。

デンマーク区からの支援を受け、モルドバは、ウクライナからの避難民支援の使命を継続することができています。

現時点において、第1および第2段階における必要とされる緊急支援パッケージの送付を、500人以上の難民が居住するモルドバの5つの地区—オルヘイ、クリウレニ、チシナウ、アネニイ・ノイおよびチミアアにおいて、ワイズメンのボランティアの協力において実施しました。第2段階においては、ワイズメンのボランティアは、モルドバ国内の、北部、中央部、南部に居住する難民が必要とする支援パッケージの送付を行いました。

参加しているワイズメンズクラブは、オルヘイ、クリウレニ、チシナウおよび2つの新クラブ候補である、アネニイ・ノイおよびチミアアの各クラブです。

難民の子どもたちが特別な注目を集める

イースター前夜、モルドバのチシナウワイズメンズクラブは、その親クラブであるデンマークのクジエラルプワイズメンズクラブと共同して、ウクライナからの難民の子供たちに数多くの幸せな時間を与えました。子供たちの幸せな感情は、それぞれの子供たちの顔に現れています。

デンマークとモルドバは、小さな国ですが、そこには人々の大きな魂が生きています。

ウクライナからの1,200人以上の難民の児童がモルドバの学校で教育を受けており、その他602人の子どもたちがモルドバ国内の未就学児童施設で教育されています。



FB ページより



デンマークのワイズメンから送られてきた贈り物を受け取る難民の子どもたち

国際本部の設置

ヒストリアン国際事業主任 デビー・レッドモンド

1962年12月、ヘンリー・グライムスの死去に伴い、指導者たちは、窮地に立たされることになりました。彼らは、ヘンリー・グライムスの最終的な引退の問題には、取り組んでいましたが、国際本部の場所を確立するために何をすべきかを完全に決定していたわけではありませんでした。1959年、委員会が設立され、1965年に予定されている退職計画や職務分析について話し合うことになっていました。その頃、会員数の増加に伴い、1960年（憲法改定）には、ヘンリー・グライムスの負担を軽減するために、国際会計の役職を選挙で選ぶことになりました。彼らは、国際会計となる人に必要だと思われることの膨大なリストを作成していましたが、当初の議論の中心は、マサチューセッツ州ローレンスの場所について（つまり生命保険金でヘンリー・グライムスの土地を購入することについて）でした。1960年の話し合いでは、ジュネーブなどの都市も検討されましたが、実現するには、より多くの国際的なメンバーが必要と考えました。ニューヨーク、シカゴ、オマハなど、アメリカ東部の都市が候補として議論に上がりました。しかし、あくまでも議論にとどまり、国際書記長が急死するまで何の行動も起こしていませんでした。

ヘンリーの死後、彼の名誉を称えるために記念基金が設立されました。最初の仕事は、ヘンリーの後任を見つけることでした。1963年9月15日、ジェラルド・ハイルが国際書記長に就任しました。彼の最初の仕事の一つは、国際本部への対応でした。彼の就任と同時に、グライムス家が所有していた書類が少しずつジェリーのもとに送られ、最後の箱は（グライムスの死後1年たった）1963年12月27日に到着し、ダウナーズ・グローブ（YMCAが運営していたジョージ・ウィリアムズ大学の所在地）に保存されました。

ダウナーズ・グローブに事務所を借り、1964年1月12日に盛大にオープニングを迎えました。シカゴに近いこの場所は、アメリカの真ん中であり、カナダのクラブにもアクセスしやすい場所でした。グライムス宅のオフィスの家賃は、無料であったので、いきなりスペースの使用料を支払わな

ければならなくなったことを考えると、この移転は、高いものとなりました。「今こそアメリカの時」というテーマで、大規模募金活動が開始されました。募金活動は、ヘンリー・グライムス記念基金に寄せられた寄付金を活用し、さらに資金を追加して20万米ドルにすることを目指して展開されました。ダウナーズ・グローブ周辺に建物や土地を探しましたが、1966年、調査委員会は、イリノイ州オークブルックに場所を決定しました。土地購入後、ゴードン・ストウ元国際会長は、国際本部にふさわしい建物の設計に取りかかりました。

1967年1月8日に起工し、1968年1月5日に礎石が置かれました。1968年7月27日には、この建物が献堂されました。しかし、海外の会員が増えるにつれ、この建物が適切な場所でないことが次第に明らかになってきました。1970年にスイスのジュネーブで、イングヴァー・ウォリン副国際書記長が就任し、そこに事務所を開設したのを皮切りに、国際本部の所在地をジュネーブにすることが決定されました。1973年、ジェラルド・ハイルの引退に伴い、本部は、ジュネーブに移されました。イリノイ州オークブルックにあった建物は、当初は貸していましたが、最終的には売却となりました。

**ダウナーズ・グローブ周辺に
建物や土地を探しましたが、
1966年、調査委員会は、
イリノイ州オークブルックに
場所を決定しました。**



1966年、国際本部のあるオークブルックの敷地に、ワイズメンズクラブ旗を立てる
マイク・スターン元国際会長とジェリー・ハイル国際書記長

エストニア:YMI100 周年を祝う



マリカ・クック、マリナ・メシパー・ルン、ゲルト・ゲンタレンがワイズメンズクラブ国際協会の設立 100 周年記念の展示作品を除幕



内部を公開

エストニアのパルヌワイズメンズクラブは YMI の 100 周年を祝い、パルヌのライクラ刑務所の前で、展示作品をオープンしました。

パルヌクラブのメンバーであるピア・カーロ・セルグ次期地域会長は、ワイズメンズクラブ国際協会の起源と活動について話しました。

1924 年、北米以外で最初のクラブが中国の上海に設立され、1928 年にはエストニア経由でヨーロッパに渡り、タリンにクラブが設立されました。このように、ヨーロッパでの活動は 6 年後に 100 周年を迎えることになります。

特別な展示作品は、パルヌクラブのメンバーであるマリナ・メシパー・ルンによって設置されました。現会長のマリカ・クックと次期会長のゲルト・ゲンタレンが、一般公開のために展示作品の除幕を行いました。展示作品のメインは、ワイズ運動が存在している多くの国の国旗で構成されています。バルト部は、フィンランド、ラトビア、リトアニアとエストニアで構成され、世界全体では、74 カ国でワイズ運動が



クラブメンバーが揃って展示作品の前で

展開されています。

オープニングセレモニーの後、クラブのメンバーはラエクラオールド・スクールセンターに集まり、そこで小さなコンサートが行われました。オールドスクール・センターとパルヌクラブの友人であるマリア・トードとゲルト・ゲンタレンが歌の才能を披露してくれました。一緒にバースデーテーブルを囲み、お茶やコーヒーを飲み、お菓子などを食べ、美しい歌を聴きながら、来年 5 月に創立 30 周年を迎えるパルヌクラブの誕生と発展のストーリーに思いを馳せました。

ウルマス・サード (出典: FB ページ)

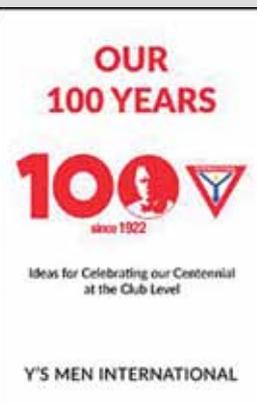
すべてのクラブでお祝いを!

あなたのクラブ、そして世界中のすべてのクラブが、100 年の奉仕を完了する年に、一つまたは複数の祝賀行事を実施するよう求められています。

この小さな本は、クラブが 100 年の友情とチャリティーを祝うための動機付けとなるようなインスピレーションの源となることを意図して作られています。

100 周年ということで、クラブがどのようにこの機会を祝うことができるか、100 の提案を見つけようとしてきました。100 件には至りませんでした。もしかしたら、あなたやあなたのクラブが、見落としたものを見つけるかもしれません。その際は、ぜひ Facebook のページであなたのアイデアを教えてください。

冊子のダウンロードはこちらから: www.ysmen.org



台湾:YMI の 100 周年の異なる祝い方



100 周年を祝うケーキを切る区のリーダー



寄付についての発表

台北ダウタウン、台中グレートビジョン各クラブ、屏東クラブのトライアングル・ブラザークラブは、屏東ワイズメネットクラブの協力の元、2021 年 12 月に社会奉仕活動を実施し、屏東の「知的障がい児協会」に所属する 120 人の子どものための資金集めと YMI100 周年を祝いました。

この活動は、公共の福祉に貢献するもので、その意義は、障がい児が野外活動に参加することにより、心身ともに健やか

な成長を促進することにあります。

これら 4 つのクラブは、努力と時間を惜しまず、135,000 台湾ドル（約 4,000 米ドル）を協会に寄付しました。

YMI の 100 周年を祝おうという呼びかけを背景に開催されたこのイベントは、正に恵みの精神と慈善行動そのものでした。

ワイズメネット フィ・チェン

インド：無料歯科検診キャンプ

ハイデラバードワイズメンズクラブとグレーターハイデラバード YMCA が合同で、2022 年 5 月、ハイデラバード YMCA におけるサマーキャンプ 2022 の一環として、無料歯科検診キャンプを開催しました。このキャンプは 1981 年から、子どもたちの総合的成育をコンセプトに毎年開催されてきました。

ヤシカ・H・メタ博士と彼女の歯科医師団ならびにサポートスタッフで構成されるチームがキャンプを実施しました。



若いキャンパーに正しい口腔衛生についてアドバイスするヤシカ博士



若者たちに口腔検査について説明するキャンプリーダー

子どもたちと学生を中心とした 200 人以上の参加者および保護者やコーチ他が歯科検診を受けました。

歯科医師は、キャンプ参加者に健康維持のための口腔衛生の重要性を伝えました。

ヤシカ博士は、怠ると様々な疾患の原因となる口腔衛生の大切さを伝え、予防するためのアドバイスをしました。

元国際議員 V・ヴィジャヤ・クマール

米国での地域奉仕活動



オハイオ州トレド:トレド YMCA のため、オハイオ州のトレド、ミシガン州のマスキーゴン、ミズーリ州セントルイスのカロンデレットの各 Y サービスクラブのワイズメンは、積極的に奉仕活動に参加し、シルバニア YMCA でのスタッフの低ロプコース作りの手伝いをしました。



イプシロンワイサービスクラブは、4,000 カナダドルをチャーマーズ基金に献金しました。チャーマーズ基金は、現在スタン・キャシディ・リハビリテーションセンターの寄付金活動の一翼を担っており、イプシロン Y サービスクラブは、スタン・キャシディ・リハビリセンターに 60 年以上も寄付を続けています。写真の中央は、イプシロン Y サービスクラブの会計担当のロン・ルブランです。



ピーターズバーグのワイズメンは、10 年来写真にあるような“この場所使用後に清掃して頂き有難う”の看板の製作を続けています。彼らは、旅行者と釣り人に人気のスポットの木に看板を括りつけています。効果抜群です。



ニューヨーク・ウェストチェスター Y サービスクラブは、エルムスフォード学校区の恵まれない子供達に 75 着の冬服をクリスマスに合わせて寄付しました。これらの贈り物は、教育委員会の委員長と教育長に手渡され、彼らは、ワイズメンズクラブの寛大さに感謝の意を表すとともに地域社会奉仕活動に礼を述べました。



カナダ:「パットと象」を支援

シャーロットタウン・ワイズメンズクラブ（カナダ／カリブ海諸国地域マリタイムズ区）は、「パットと象」で毎日搬送するお客様全ての支援をしています。

「パットと象」は、カナダのプリンス・エドワード島と沿海州全体で、車椅子対応バンでの輸送を週7日提供し、障がい者のクラブメンバーや地域の高齢者の方にも、交通の事を気にせず楽しく時間を過ごせるようにしたいと願っています。



（左から右へ）寄付金贈呈式に出席した「パットと象」の会計担当、グレッグ・ピーターズ、シャーロットタウン・クラブ会長、ブレアー・カットクリフィー、「パットと象」マネージャーのマーガレット・シャナハン、次期シャーロットタウン・クラブ会長ビル・アーウィン

名前の由来

「パットと象」を設立した私の叔母パット・ロジャースを私はとても誇りに思っています。というのも、パットは、最初の子椅子対応のバンを買いにニューブランズウィックまでいかなければなりません。なぜなら、プリンスエドワードアイランドでは、父親か夫の保証がなければバンを売ってもらえなかったからです。彼女には、どちらもいませんでした。彼女の父親は、既に亡くなっていましたし、彼女は、未婚者でした。私の母も一緒にバンを引取りに行ったのを記憶しています。パットが、引き取りから帰って来てバンをドライブウェイに入れた時、彼女の母（私の祖母）は、寝室の窓からドライブウェイに駐車したバンを見て、「象みたい!」と叫んだそうです。それが、「パットと象」の由来です。

リサ・デスバラツ（『パットと象』のフェイスブックページより）



アラブ首長国連邦:スキルアップ バーチャルに人を育てる



ワイズメンズクラブ国際協会インド地域と中東区のリーダーたちがスキルアカデミーの開校を記念して点灯

アジュマーン・ワイズメンズクラブ（アラブ首長国連邦・インド地域・中東区）が、遠方や近隣の人たちのために能力と教育を促進するプロジェクトを立ち上げました。

ワイズメンズクラブ国際協会の創設者ポール・ウィリアム・アレキサンダーの遺志を継ぎ、100周年を記念して行われる教育分野における社会貢献プロジェクトです。このバーチャル・アカデミー（仮想学園）は、あらゆる種類の科目について、ネット接続の有無にかかわらず、デバイスを介した学習体験を提供するアプリを備えた、インタラクティブな多言語学習プラットフォームを提案するものです。

アジュマーンクラブ会長、ダイエス・イディキュラ

ワイズメンズクラブ国際協会がハワイ州で 表彰されました



ホノルル市庁舎で、ホノルル市・郡議会からワイズメン100周年を祝い、認定証を受け取るハワイ区代表者の写真です。議会場でこのような栄誉ある認定書を受ける名誉なお膳立てをしてくれたハイディ・ツネヨシ市議会議員に深く感謝しています。

出典：ハワイ区フェイスブックページ

役立っている地域社会奉仕活動の数々



ハワイ:アサートンY サービスクラブはハハイオネ川の清掃活動をしました。会員たちは、川岸に生えた雑草の除去作業に従事し、ゴミその他を含めて6袋分を集めました。このような清掃作業は、大雨が降った場合のガレキの堆積や洪水を防ぐのに役立ちます。



ハワイ:ホノルル YMCA の「健康キッズ・デイ」プログラムが4月30日(土)に開催されました。オアフ島にある6つのYMCAが主催し、無料の家族参加のいろんなプログラムを提供しました。写真はカリヒY サービスクラブの提供です。



マレーシア:ホープボックスと呼ばれる世界初の再生型有機野菜テラニウムと、同じく世界初の水耕栽培サテライトファームシステムをマレーシアのジョホール・イーグルスY サービスクラブが、PwD スマート・ファーム・アビリティとファーム・ファースト・マレーシアと協力し、ワイズメンズクラブ国際協会の資金援助を受けて立ち上げられました。この事業の目的は、あらゆる経済的背景を持つ人々、特に社会的に疎外され困窮している人々に食のリテラシーと食の主権を通して栄養価の高い食品を届けることです。

フィリピン:プロジェクト「私たちは、バンゴン・シアルガオを手助けする」



大暴風雨後の生活再建のために、救援物資や道具を配布するワイズ・ボランティア

カテゴリー 5 の暴風雨「ライ」、現地ではスーパー台風「オデット」と呼ばれる強力な熱帯低気圧が、昨年末にフィリピン南部を襲いました。ビコール、ネグロス、レイテ南部、パラワン、ディナガット、スリガオ・デル・ノルテ、シルガオ島の各地域を襲い、家屋をなぎ倒し、食料や水の供給、電気、交通、通信が遮断されました。フィリピン区のワイズメンは、地域暫定行政委員会（PRIAC）議長

のラリー・チャン、共同議長のラモナ・モラレス、事務局長のポール・リムの下、被災した家屋の再建作業を行いました。アジア太平洋地域自然災害緊急支援基金とフィリピン区のクラブ、ワイズリーダーの働きで、シアルガ島 20 地区の 8,441 世帯に、「私たちは、バンゴン・シアルガオを手助けする」プロジェクトの下、復興作業に必要な道具を提供する事が出来ました。元区理事 ポール・リム

インド:ロールバックマラリア資金を集めるガレッジセール

YMI のロールバックマラリア・キャンペーンへの寄付を増やすために、食料品、衣料品、手工芸品、家庭用品などの販売を今年初めに開催しました。このイベントは、南西インド区第 2 部のクラブ会員が中心となり、プラディープ・クマール部長とワイズメネット・コーディネーターのギギー・ヴァルギースが指揮を執りました。このベクター媒介性感染症は、世界中で 2 億 4 千万人以上が感染しています。

この感染症の危険を確信した人たちは、熱心に販売に参加し、惜しめない寄付にも貢献しました。このイベントにより長期残効型殺虫ネット（LLIN）70 枚分の資金が集まりました。当部では既に今年初めに 30 枚の LLIN を購入したので、今年は、合計で 100 枚の LLIN を寄贈する事が出来ました。

元地域会長 スージー・マッシュー



ボランティアとサポーターが交流し、手に入れた商品を選ぶ様子(左)、主催者と交流する部のリーダー

地域からのニュース

オーストラリアの YMCA との提携

南オーストラリアYMCAは、郊外のフィットネスおよびレジャーセンターで、関連する一連の青少年事業を提供するためのいくつかの助成金を受け取りました。「ユースゾーン」は、しばしば疎外されたり、一人ぼっちにされたり、仲間外れにされたりした若者に復帰の機会を提供するために創設されました。

アデレードYサービスクラブは、彼らの仕事を支援するために5,000オーストラリアドルを南オーストラリアYMCAに寄付しました。資金は、半分に分割され、この事業と興味深いYMCA事業である「青年議会」に参加する若者のグループを支援しています。

南オーストラリアYMCAの子供向けサービスの責任者であるコマラ・チャンピオンは、これらの事業を幅広く監督しています。コマラは、このコミュニティに属する人々やチームが、成功裏に活動できるようにスキルアップし、YMCAが世話している子どもたちに可能な限り最高の環境を作り出すことに非常に情熱を注いでいます。

コマラは、最近、IC ハワード / Y サービス オーストラリアのアレキサンダー奨学基金 (ASF) を授与されました。オーストラリアのYMIクラブは、長年この授与を支援しており、南オーストラリアの私たちがコマラと協力関係にあることを嬉しく思います。彼女は、



元地域会長ラッセル・ジョーンズと元国際会長ジェニファー・ジョーンズがユースキャンプリダーのエイミーとともに

この資金を使ってスコットランドYMCAを2週間訪問し、若者の指導と、オーストラリアでの状況にどのような要素が適応できるかについて学ぶ予定です。

私たちは、YMCAとコマラが、今後も、健全で強靱な人々とコミュニティを育む努力をし続けられるよう、願っています。

元国際会長ジェニファー・ジョーンズ

デンマーク:リサイクルで得た年間収益の分配

エリソワイズメンズクラブは、2021年から2022年にかけて、家庭用品と身の回り品をリサイクルするという同クラブの旗艦プロジェクトが生み出した98,500デンマーク・クローネ（約14,215米ドル）を寄付しました。この寄付により、同クラブが過去40年間に分配した総額は、300万デンマーク・クローネ（約433,000米ドル）を超えました。

今年の寄付の地元の受給者には、YMCAの兵士の家、キッチンカーのための支援金、エリソ教会のクリスマスと堅信礼の困窮家族の支援、フレデリシア・プロブスティの脆弱な家族のための家族の休日の開催、および他の少数のグループが含まれていました。

同クラブは、また、ウクライナへの援助を含む、デンマーク区の国際プロジェクトも支援しました。 出典：FB ページ



台湾区のCS

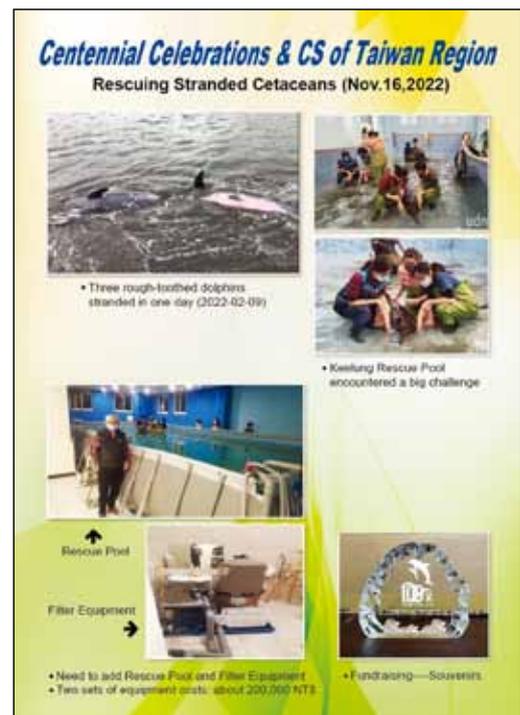
浜に打ち上げられたクジラの救出 (2022年11月16日)

【左上】これらの災難に遭ったイルカがある日浜に打ち上げられた (2022年2月9日)

【右上】救出プールへの収容は、困難を極めた

【左下】救出プール 漁師の装備

救出プールと 漁師の装備を備えなければならなかった！ 2組の装備の費用は約20万台湾ドルでした



被災者の持つパワー

スリランカ南岸にあるハムバントタ海岸は、観光用パンフレットであれば、躊躇なく「パラダイス」と名前をつけるような場所です。その輝く白い砂が、何世紀にも亘り、暖かい海流によって形成された大きな入り江にある広いビーチを覆っています。暖かい午後のそよ風にヤシの木がそよぎ、波が海岸に打ち寄せています。

しかし、この海岸には大きな悲しみがあるのです。うだるような暑さの中でテントが立ち並んでいるのですが、この場所は、かつて快適な多くの住居があったイスラム教徒の漁村だったのです。散在するテントと村人が歩き回っている村の間にある空き地には瓦礫や粉々になった漁船の残骸が散らばっています。それらは今も、恐ろしい津波が砂丘を駆け上り、そこにあった漁村を近くの礁湖に押し流した6カ月後の惨状を物語っています。

住民の新居の建設は、始まっていませんが、モスクの再建は、徐々に進んでいます。住民は、猛暑を避け、喪失感や落胆の重荷を共に分かち合って軽減するために、このモスクに集まり、祈りを捧げるのです。私たちは、彼らが集まって正午の祈りを捧げる邪魔をしたくありませんでしたが、悲しみと喪失感にさいなまれている中で彼らが私たちを歓迎してくれるかどうかについても少しばかり不安でした。ところが、笑顔と暖かい握手が私たちの心配を払しょくしてくれました。

状況が少しずつ呑み込めて来ました。住民は、自分たちが生き延びた事実を共有していたのです。何人かの住民は、当日の早朝、近くの丘の上にある市場に行くために自宅を出たのです。その丘の上から彼らは、突然、津波が入り江に押し寄せ、村を飲み込み、それが引いた後に瓦礫しか残っていないのを目の当たりにしたのです。他の住民は、自宅から押し流され、水が海に退くまで必死になって、なんとか木や藪につかまっていた。

現在、住民は、うだるような仮設テント中で一人座って、失った家族の思い出に浸っているのです。その他の全ての思い出、写真、記念品、持ち物は、漁村の向こうにある礁湖の海底のどこかに横たわっているのです。被災者は、孤独の時を過ごす中で、気を確かに持ち続けるためにアッラー神を深く信仰し、彼らの記憶とお互いに対して深い信頼を置いているのです。

私たちが、瓦礫や仮設テントの間を歩いている間、白い砂浜の焼けつくような照り返しの熱は、履いている靴を突き抜けて火傷をするほどでした。灼熱の中、自分たちの家と家族を奪い去った災害の記憶と共にこの地で生活する重荷に耐えられる人は殆どいないでしょう。時には、自らの心境を言葉にすることさえかなわないでしょう。

* マックス・エディガーは、カンボジアの「平和の学校」の運営責任者です。彼は長年のブロガーであり、この記事は、以前のブログに掲載された記事の一つで <http://calebandshalev.wordpress.com/> から転載されたものです。

一つのテントの隙間から、床に広げられたマットの上にひざまずいている中年の女性が目に入りました。彼女は、アッラー神に深い感謝の祈り捧げ、賛美していました。静かに側を通り過ぎようとしたのですが、私たちに気づいた彼女は、立ち上がり、テントの中に入って話すように私たちを招き入れました。彼女の悲しみとは裏腹に、私たちを歓迎してくれたのです。6カ月以上前のあの恐ろしい朝に、その漁村を襲った津波が彼女の家族全員を奪ったのです。彼女の家に残された物は、セメントの基礎と水の力によって掘り起こされて泥や砂だらけとなった床だけでした。自らのささやかな生活にしがみついたために彼女は、その上にテントを張ったのです。

彼女が自分の失ったものと苦悩について語る中で、私たちのグループの一人が涙を流し始めました。時として被災者に対する涙のほうが、言葉よりも雄弁なのです。自分たちの今までの経験をはるかに超える苦しみを体験した人を慰めるすべはありません。

それどころか慰めてくれたのは被災者である彼女自身だったのです。心にとてつもない苦しみを抱えたこのイスラム教徒の女性が、そっと手を伸ばして同僚の両頬から涙を拭ってくれたのです。「大丈夫ですよ」と彼女が言ったように思えました。「神の御心であるなら、私も大丈夫です」と。

この出来事がきっかけで、インドの友人の一人がかつて私に言ったことを思い出しました。「私たちは、しばしば被災者を絶望に打ちひしがれ、生き延びるために私たちの同情と援助を必要としている存在として語るけれど」と彼は、言いました。「ことによると心を育み、癒しを与えてくれる被災者のパワーについて語る事が私たちにとってもっと重要ではないでしょうか」と。

あの日、私たちは、ハムバントタ海岸の白い砂の上と、かつて栄えていたイスラム教徒の漁村の瓦礫の中で被災者の持つ癒しと心を育むパワーを体験したのです。神の救いの愛と私たちが、しばしば絶望的な存在であると考えている被災者の持つ深い思いやりの心に対して私たち全員が心を開くことができますように。



クラブの指導的立場にあるメンバーに、実施した活動に関する記事を1枚以上の高解像度の写真と適切な短い説明文を付けて送られることをお勧めします。記事は、150語(英語)以内でお願いします。読者の皆さんもグローバルな我々の運動に関する関心事について、ご意見や原稿をお寄せ下さい。記事と写真は www.ysmen.org/ymiworld にお送り下さい。

次号掲載記事の提出締切日:2022年8月23日

2010-2022 年の国際会長



85.藤井寛敏
2010-2011の国際会長
ホームクラブ:東京江東(日本)

88.ポール・V・トムセン
2013-2014の国際会長
ホームクラブ:ケレルプ
(デンマーク)



86.フィン・ペダーソン
2011-2012の国際会長
ホームクラブ:スタバンゲル
(ノルウェー)



89.アイザック・パラシカル
2014-2015の国際会長
ホームクラブ:コチン(インド)



87.フィリップ・マサイ
2012-2013の国際会長
ホームクラブ:コチン(インド)

90.ウイチャン・ブーンマバジョン
2015-2016の国際会長
ホームクラブ:バンコク(タイ)



2010-2022年の国際会長



91. ジョウン・ウィルソン
2016-2017の国際会長
ホームクラブ: オタワ
(カナダ・オンタリオ州)
2人目の女性国際会長

94. ジェニファー・ジョーンズ
2019-2020の国際会長
ホームクラブ: アデレード
(オーストラリア)
3人目の女性国際会長



92. ヘンリー・J・グリンドハイム
2017-2018の国際会長
ホームクラブ: ベルゲン
(ノルウェー)



95. ジェイコブ・クリステンセン
2020-2021の国際会長
ホームクラブ: リンケビング
(デンマーク)



93. ムン・サンボン
2018-2019の国際会長
ホームクラブ: ヨス (韓国)

96. キム・サンチェ
2021-2022の国際会長
ホームクラブ: キムヘセブン (韓国)



YMI *Welcome to Taipei!*

CENTENNIAL CELEBRATION

15 - 17
November
国際協会100周年祝賀会
台北へようこそ



2022年11月15~17日

國際聯青社
百年慶祝活動
臺北見



City View & Taipei 101 Tower
台北101タワーと街並み



Grand Hyatt Hotel, Taipei
グランドハイアットホテル

VENUE

Grand Hyatt Hotel, Taipei Taiwan

会場：台湾・台北・グランドハイアットホテル

AGENDA

10-14 November: PRE CONFERENCE TOURS (Optional).

2 to 5 days オプションツアー：11月10-14日 2-5日間

14日：RBMカップゴルフ／歓迎パーティー

15日：開会式、感謝礼拝、祝賀会

16日：基調講演、エクスカージョン、交流会

17日：ウォーキング、YMIの将来について、交流



Thermal Valley



National Museum
of Marine Science
and Technology



Chiang Kai-shek
Memorial Hall



presidential palace



Cetacean Rescue Project-Community Service



Sun yat sen Memorial Hall



Shilin Residence